

第5学年 社会科学学習指導案

日 時：令和3年11月24日（水）

第5校時 13:20～14:05

対 象：第5学年2組 36名

授業者：福田 佳祐

会 場：5年2組 教室

1 単元名 「自動車をつくる工業」（新しい社会 下 東京書籍）

2 単元の目標

我が国の自動車工業について、製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、資料を活用して調べ、まとめ、自動車生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考えたり表現したりする活動を通して、自動車工業に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するために様々な努力や工夫をして、工業生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に工業生産の発展について考えようとする態度を養う。

3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などについて、地図帳や地球儀など資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、工業生産に関わる人々の工夫や努力について理解している。	①製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などについて着目し、問いを見だし、工業生産に関わる人々の工夫や努力について考え、表現している。	①我が国の自動車工業の生産について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
②調べたことを図表や文などにまとめ、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な努力をして、工業生産を支えていることを理解している。	②工業生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて、工業生産に関わる人々の働きを考えたり、これからの工業の発展について考えたりして、適切に表現している。	②学習したことを基に、消費者や生産者の立場から多角的にこれからの工業生産の発展について考えようとしている。

4 指導観

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年告示) 社会科第5学年の内容(3)「現代社会仕組みや働きと人々の生活」を受けて設定した。

小学校学習指導要領(平成29年告示) 社会科編 第3章 第3節

(3) 我が国の工業生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解すること。

(エ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

私たちの生活をより豊かにする工業製品は、消費者の需要に合わせて日々研究・開発が行われており、それらは生産者の努力や工夫を基に成り立っている。しかし、消費者である我々はそれらについて知ったり考えたりする機会はほとんどない。また、私たちが工業製品を購入する際は、最終的に組み立てを行い、販売をするメーカーや製品の完成形を比較することはあるものの、関連工場が生産している部品の一つ一つに着目したり工場相互の協力関係に着目したりすることはほとんどない。そこで本単元では、「工業製品の生産時の工夫」「生産に関わる人々の工夫や努力」に着眼点を置き、それぞれについて資料をもとに調べたり考えたりしたことをまとめ、表現する活動を通して、日本の工業についての理解を広げることができるようにする。

(2) 児童観

【研究推進部主体の児童・生徒の学力向上を図るための調査(令和3年5月実施)より】

本学級の児童は、他の教科と比較して社会科の学習に対する理解度が低く(質問1)、苦手意識をもっている児童が多い(質問2)ことが分かった。この2項目の相関を調べたところ、正の相関が認められたため、授業の内容が理解できている児童は学習が得意だと感じ、そうでない児童は苦手と感じる傾向がある。学習の進め方についての質問(質問4)では、「(2) 難しいと感じる問題でも、最後まで諦めずに取り組むことができる。」「(14) どうしてそうなるのかという理由を考えながら学習している。」の2点について肯定的に捉えている児童が8割を超えていた。また、相関係数より「(5) どうやったらうまくいくかを考えてから、学習を始めるようにしている。」について肯定的に捉えた児童は、社会科の学習での理解度が高いことが分かった。一方で「(6) 学習の途中で、自分がどのくらい分かっているのかを考えている。」「(11) 自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている。」「(13) 学習していて分からない言葉があれば、すぐに調べるようにしている。」「(16) 意味を理解して、覚えるようにしている。」の4点について肯定的に捉えている児童が比較的少なかった。また(6)に関しては当てはまると答えた児童が6.3%と非常に低かった。

以上より、本単元では、以下の点を意識して指導を行うことにした。

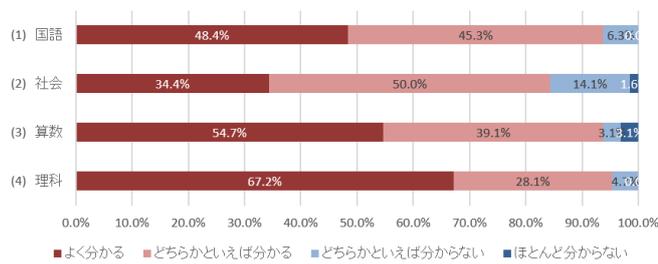
・単元の学習の流れを明確にすることにより、児童が「自分が今、何を学習しているのか」を把握できるようにする。また、1単位時間ごとに問題と予想だけでなく、クラスの予想を立てることにより、自分の調べていることや内容が解決につながっているかを確認しながら調べ学習を進めることができるようにする。「質問4－(6)」の改善を図る) 児童が粘り強く調べ学習に向かうことができる態度を養うため、調べを進めると予想が正しいことが立証される調べ学習の時間と、調べたことから新たな事実直面する調べ学習の時間を設ける。後者の場合は、途中で予想を修正して更に詳しく調べ学習を進めることができるようにする。

・課題を解決するために必要な資料を精選し、提示方法を工夫し、調べる方法を明確にすることで、「質問4(5) どうやったらうまくいくかを考えてから、学習を始めるようにしている。」を否定的に捉えた児童への支援とする。

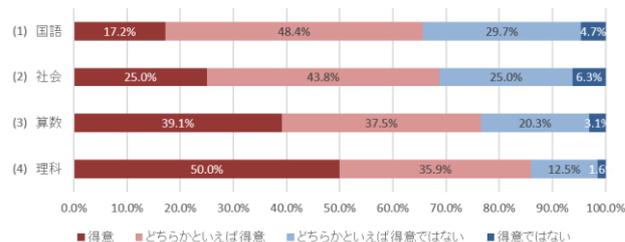
・自分の意見をまとめ、発表し、交流する時間を設ける。全員が自分の意見を表出することができるように、学習支援ツール(ミライシード)を活用していく。「質問4－(11)」の改善を図る)

・児童が分からない言葉や理解できなかった事柄を把握し授業改善を図るために、各授業時間の振り返りを蓄積、分析する。また、児童が調べたいと思ったときにすぐ調べられるようタブレット型端末を使用する。「質問4－(13)(16)」の改善を図る)

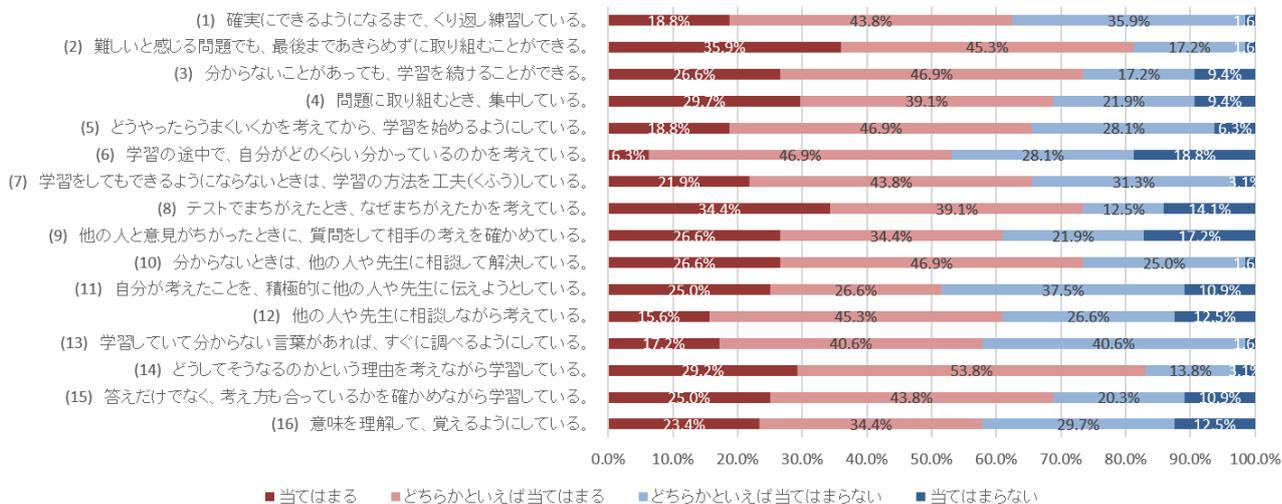
1 授業の内容はどのくらい分かりますか



2 教科の学習はどのくらい得意ですか



4 学習の進め方について、一番近いと思うものを選んでください。



(3)教材観

本単元では、「つかむ」段階で自動車は国民生活を大きく変えてきたことに触れ、それは高品質かつ大量生産が行われているからであることに気付かせることで、自動車会社に従事している人々がよりよい自動車を生産するためにどのような工夫をしているかを考えさせる。

「調べる」段階では、「工業製品の生産時の工夫」「生産に関わる人々の工夫や努力」に児童が着目し、社会科的事象の見方・考え方を働かせながら調べたり考えたりすることができるよう、上記2点に着目して教材を作成する。

参考：社会科的事象の見方・考え方（小学校学習指導要領（平成29年7月告示）解説 社会編）
社会的事象を、見①位置や空間的な広がり、見②時期や時間の経過、見③事象や人々の相互の関係などに着目して、社会的事象を捉え、考①比較・分類したり 考②総合したり、考③地域の人々や国民生活と関連づけたりすること

【工業製品の生産時の工夫】 考①

自動車もその他の多くの工業製品も、消費者が販売店に出向き、販売店が生産者との仲介に入る形で購入することが類似している。しかし、多くの工業製品の場合は、販売店が在庫を抱え、即時消費者の手に商品が渡るが、自動車の場合は、消費者の注文に合わせて自動車が生産させる。その方法は、ジャストインタイム方式と呼ばれ、無駄の削減や生産性の向上による大量生産、低コストでの生産が実現されている。そこで、自動車の生産から消費者の手に渡るまでの時間と、他の工業製品のそれとを比較させることにより、自動車の生産に工夫が隠れていることに気付かせ、児童が自動車の生産について興味をもたせることで、主体的に調べる学習を進めるようにする。

【生産に関わる人々の工夫や努力】 考③

工業製品の生産・販売は経済活動であり利益の追求とともに商品の魅力の向上が不可欠であり、生産に関わる人々が消費者のニーズに合わせた自動車づくりをしている。そのことに児童が気付くことができるように、事前に保護者にアンケートを実施し、消費者のニーズを知る活動を取り入れる。消費者のニーズを抑えた上で各自動車のキャッチコピーやカタログの工夫を探ることで消費者のニーズに合わせた自動車が生産されていることを調べられるようにしていく。

「まとめる」段階では、調べる段階で捉え、まとめた自動車会社の工夫を元に、近未来の自動車を想像し、考える活動を通して我が国の工業生産についての理解を進める。

5 研究主題との関連

(1) 研究主題

学びに向かう力を育むための指導の在り方を考える
～「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の分析を通して～

(2) 研究主題を受けた目指す児童像

- ・自らの学習を調整しながら、粘り強く、課題に取り組むことができる子
[学びに向かう力が育成された児童の姿]
- ・課題に対して、あきらめずに繰り返し取り組むことができる。
- ・課題解決に失敗した際に、方法をかえて取り組むことができる。
- ・課題に取り組む際に、自分で計画を立てて取り組むことができる。

(3) 目指す児童像に迫るための研究仮説

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」から、児童の実態を把握し、実態に適した学習内容の工夫をすることで、児童が意欲的に学習に取り組むようになるであろう。

(4) 目指す児童像に迫るための具体的な手だてと、ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度

- ・課題に対して、あきらめずに繰り返し取り組むことができる児童の育成

本单元において考えられる児童の躓きには、まず資料の読み取りがある。分からない語句や用語が多く内容を捉えることが難しい児童もいるので、タブレット型端末を使って調べる習慣を付けることにより、粘り強く課題を解決いくことができると考える。また、学習問題に対する答えを形式的に獲得するために、ワークシートを活用して、学習を積み重ねていく。そうすることで、多面的、総合的に物事を考えることができようにする。

書字能力に課題がある児童への配慮や容易にトライアンドエラーが可能な点、見通しがもちにくい児童が文字の大きさや分量を後から容易に修正が可能な点を考慮し、個別最適化を目指し、タブレット型端末を活用して授業を行う。 (ESDの視点 多面的・総合的に考える力)

- ・課題解決に失敗した際に、方法をかえて取り組むことができる児童の育成

問いを明確にし、児童のゴールイメージがもてるようにする。ゴールイメージをもつことで、児童は、追究意欲が高まると考える。児童の興味や目的に応じて、複数のウェブサイトから情報を収集し、取捨選択する力を身に付けさせる。

単元の終末には、クラスの前予想や予測できる児童の調べた結果と相反する資料を児童に提示する。揺さぶる問いを設定することで、児童が社会的な問題に対して深く考えることができるようにする。

(ESDの視点 批判的に考える力)

- ・課題に取り組む際に、自分で計画を立てて取り組むことができる児童の育成

それぞれの時間で前時の振り返りと学習計画の確認を行うことで、学習問題を解決するための見通しをもって学習に参加できるようにする。 (ESDの視点 未来像を予測して計画を立てる力)

6 知識の構造図

中心概念
(概念的知識)

自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するようさまざまな工夫や努力をして、工業を支えている。

まとめる

社会的事象
(具体的知識)

わたしたちの生活に欠かせない自動車は時代とともに変化してきた。それらは自動車工業のさかんな地域でつくられている。
①②③

自動車は、組み立てラインにのせられ、さまざまな工程を経て完成する。
④

自動車は、組み立て工場と部品をつくる関連工場が協力して生産される。
⑤

生産された自動車はキャリアカーや船で国内や海外に輸送される。また、海外での現地生産がさかんになっている。
⑥

自動車会社では、消費者の需要や社会の変化に対応して、よりよい製品を開発している。
⑦⑧

用語・語句

- ・ 工業製品
- ・ ハイブリッド車
- ・ 排出ガス

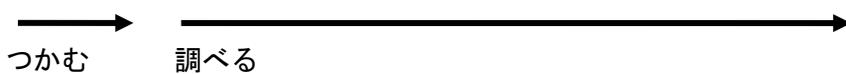
- ・ 組み立てライン
- ・ プレス
- ・ ようせつ

- ・ 組み立て工場
- ・ 関連工場

- ・ キャリアカー
- ・ 自動車専用船
- ・ 現地生産

- ・ 自動車のリサイクル
- ・ 燃料電池
- ・ 福祉車両
- ・ 自動運転・安全性

問題解決的な
学習の過程



7 単元の指導計画と評価計画 (全8時間)

次	時	○目標	・主な学習活動	評価規準(評価方法)		
				知識 技能	思考・判断 表現	主体的に 取り組む態度
つ か む	第1時	○自動車会社が 様々な工夫を 行いながら自 動車を生産し ていることを 理解している	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や映像を見て、車にはいろいろな種類があることを知り、車への興味・関心を高める。 ・年代によって作られている車の様子が異なっていることを知る。 ・生産台数や工業生産額のグラフから、1年間でたくさんの車が生産され、売られていることを知る。 	アー①		
	第2時	○自動車会社が、 どのような考 えで生産・開発 を行っている のか調べ、学習 問題をつくり、 学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果から、消費者のニーズがあることを知る。 ・CMやカタログを見て、自動車会社がどのような考えをもって生産しているかについて調べる。 ・学習問題を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 自動車を生産する人々は、よりよい自動車をたくさん作るために、どのような工夫や努力をしているのだろうか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学習問題に対して予想を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 予想 <ul style="list-style-type: none"> ・工場に大量生産の工夫がある。 ・生産台数が増えているから輸出にも力を入れている。 ・消費者が欲しいと思うような車を考えて開発している。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の予想を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学級の予想 自動車生産に関わる人々は、工場効率よく車を生産したり消費者の需要に合わせた開発をしたりしている。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・調べる内容をまとめて学習計画を立て 		イー①	ウー①

			<p>て単元の学習に見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「調べる内容」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車工場について（・関連工場について） ・世界との関わりについて ・消費者のニーズとの関連について </div>			
調べる	第3時	○自動車工場の生産における工夫や努力について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンなどの家電量販店で購入できる工業製品は購入後すぐに持ち帰りができるが、車は納車までに時間がかかることから、他の工業製品と生産体制が異なることに気付かせる。 ・工場の外観写真から、広い工場で車が生産されていることをつかむ。 ・本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>課題</p> <p>工場で働く人は、どのように自動車を作っているのか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・予想を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>予想</p> <p>全てロボットで生産されている。 ロボットを動かしている人がいる。 それぞれの注文に合わせて一つの部屋で一つの車を作っている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の予想を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学級の予想</p> <p>自動車は、ロボットの力を使って一台一台組み立てられている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・部品を作る工場の写真や映像、説明を見て、車ができるまでの流れについて読み取り、意見を出し合う。 ・資料の中から読み取れた生産の工夫について意見を出し合う。 	ア－①		

		<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを自分の言葉でまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自動車は、組み立てラインにのせられ、人とロボットが力を合わせて生産されている。小さな部品などは、別の工場から運ばれてきていた。</p> </div>			
第4時	○関連工場の工夫や努力、自動車工場との関係について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 組み立て工場では、どんな部品を組み合わせて車を組み立てていたか確認する。 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題 自動車の各部品はどのように作られているのか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 予想を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>予想 ・部品ごとにそれぞれ工場がある。 ・工場の近くに集まってすぐに運べるようにしている。 ・部品が足りなくならないように多めに作っている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 学級の予想を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学級の予想 部品は近くの工場で作られて、組み立て工場に運ばれている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 組み立ての流れの写真や映像、説明を見て、車を生産する流れについて読み取り、意見を出し合う。 映像の中から読み取れた生産の工夫について意見を出し合う。 調べたことを自分の言葉でまとめる。 	アー①		
第5時	○車の運搬・輸出について調べる。	<ul style="list-style-type: none"> 前時の部品を集めて車が製造されていることを確認する。 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>完成した自動車は、どのようにして消費者に届けられているのか。</p> </div>	アー①		

		<ul style="list-style-type: none"> ・予想を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>予想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛行機や船で運ばれている。 ・直接ではなく、どこか変わりのところに売る。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の予想を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学級の予想</p> <p>完成した車は船やトラックを使って運搬される。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・車の製造には、販売費、材料費などがあり、輸送費もかかることを確認する。 ・世界中に日本の車が輸出されていることを資料から読み取る。 ・調べたことを自分の言葉でまとめる。 			
第6時	○自動車会社は、安全に配慮し環境や人に優しい車を開発・生産していることを理解し、自動車生産に関わる人々の働きを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートから消費者のニーズがあることを確認する。 ・本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題</p> <p>自動車会社はどのようなことを考えながら車を開発・生産しているのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・予想を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>予想</p> <p>消費者のニーズに合わせた車が開発されている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の予想を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学級の予想</p> <p>自動車会社は消費者のニーズが大きい、「乗り降りしやすい車」「環境に優しい車」「安全装備・運転支援が充実している車」に合わせることを意識して車を開発し、生産している。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車工場生産されている車の特徴について調べる。 	アー②		ウー①

			<ul style="list-style-type: none"> ・スクラップになった車の写真を見て、意見を出し合う。 ・廃車されたあとの車の処分方法について調べる。 ・自動車のリサイクルについて知る。 ・調べたことを自分の言葉でまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自動車会社は消費者のニーズに合わせてだけでなく、消費者が使い終えた車と環境のことも考えた、車の開発を行っている。</p> </div>			
ま と め る	第7時 第8時	調べたことをまとめ、これからの自動車工業の在り方について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返り、学習問題に対する自分の考えをまとめる。 ・学習したことを基に、自動車工業と私たちの生活との関連やこれからの自動車工業の在り方について話し合う。 		イー②	ウー②

8 本時（全8時間中の第6時）

(1) 本時の目標

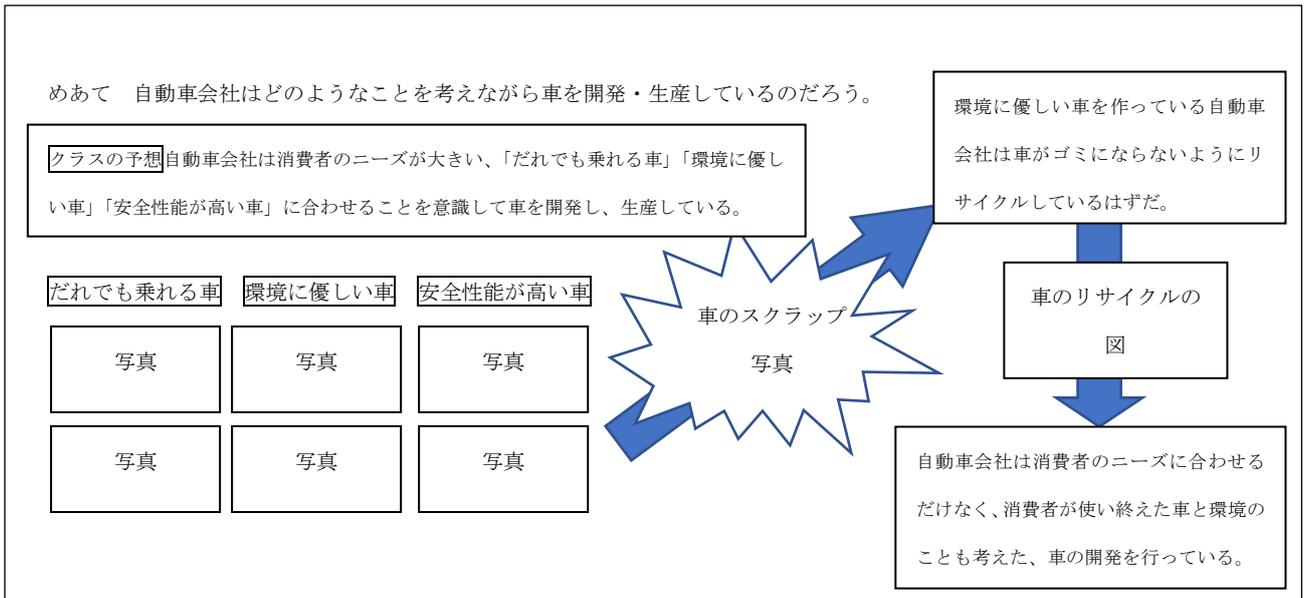
自動車生産に関わる人々は、安全に配慮し環境や人に優しい車を開発・生産するための工夫をしていることを理解し、学習問題を振り返ったり追究したりしながら解決しようとしている。

(2) 本時の展開

時間	○学習活動 ・予想される児童の考え	◇指導上の留意点 ◆配慮事項	△評価規準 (評価方法)
つかむ (8分)	<p>○事前アンケートをもとに、自動車会社がどのようなことを考えて車を開発しているのかについて予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全装備、運転支援が充実している車 ・環境に優しい車 ・乗り降りしやすい車 <p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自動車会社はどのようなことを考えながら車を開発・生産しているのだろう。</div> <p>○予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者のニーズに合わせた車 <p>○学級の予想を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自動車会社は消費者のニーズが大きい、「乗り降りしやすい車」「環境に優しい車」「安全装備、運転支援が充実している車」に合わせることを意識して車を開発し、生産している。</div>	<p>◇事前に保護者に向けてアンケートを実施し、児童が自分事として捉えることができるようにする。</p> <p>◇設問の項目を工夫し、消費者の求めているニーズをまとめやすくする。</p> <p>◇アンケートから読み取れる消費者のニーズについて確認する。</p> <p>◇「乗り降りしやすい車」とは、足の不自由な人（高齢者やけがをした人、車椅子を使用している人）や小さな子どもなどを示していることをおさえる。</p>	
調べる (34分)	<p>○自動車工場が開発して生産している車について調べ、パワーポイントにまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">乗り降りしやすい車</div> <ul style="list-style-type: none"> ・椅子が車外に出る車 ・車椅子をそのまま載せられる車 ・チャイルドシートの固定器具が付いている車 	<p>◇タブレット型端末を活用して児童に調べさせる。</p> <p>◇調べた情報はスクリーンショットで保存し、クラス全体に共有できるように用意させる。</p> <p>◇発表の際には電子黒板を活用し、児童の端末の画面を全体で映し出すことでクラス全体に意見の共有ができるようにする。</p>	△アー② (観察・タブレット型端末)

	<p>環境に優しい車</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッドカー ・電気自動車 ・燃費がいい車 <p>安全装備・運転支援が充実している車</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動で停止する車 ・エアバッグが付いている車 ・車の接近を教えてくれる車 ・衝突実験をしている車 <p>○スクラップになった車の山の写真を見て、意見を出し合う。(調べた環境に優しい車とは背反する事実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車がゴミのように積まれている。 ・環境に悪そう。 ・<u>車もリサイクルされているのではないか。</u> <p>○廃車されたあとの車の処分方法について調べ、パワーポイントにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分解されてリサイクルされている。 ・部品や中古車を輸出している。 <p>○自動車のリサイクルについて知る。</p>	<p>◆タブレット型端末を活用して自力で調べることが難しい児童には、教科書や資料集から情報を集めさせる。</p> <p>◇それぞれのニーズごとにまとめて板書を行う。</p> <p>◇廃車工場の写真を見せ、自動車会社は本当に環境のことを考えているのか考えさせる。</p> <p>◇タブレット型端末や教科書を活用してクルマの解体・処分について調べる。</p> <p>◆情報がまとまっているウェブサイトを簡単にアクセスできるようにしておく。</p>	<p>△アー② (観察・タブレット型端末)</p>
<p>まとめる (3分)</p>	<p>○調べて考えたことを PowerPoint にまとめる。</p> <p>自動車会社は消費者のニーズに合わせるだけでなく、消費者が使い終えた車と環境のことも考えた、車の開発を行っている。</p> <p>○学習問題の振り返りと次時の予告を行い、学習に見通しをもたせる。</p>	<p>◇PowerPoint を活用してワークシートに自分の考えを記入する。</p>	<p>△ウー① (観察・タブレット型端末)</p>

(3) 板書計画



(4) 授業観察の視点

- ・タブレット型端末を活用し、児童の学びをまとめていくことは、児童が見通しをもって粘り強く学習するために有効な手だてであったか。
- ・それぞれの時間で学級の予想を確認することは、課題に主体的に取り組むために有効な手だてであったか。
- ・児童が調べたことと相反する資料を提示することで、社会的な問題に対して深く考えることができたか。